

保育所の夏

やまもも保育所 小笠原 君枝

夏といえばプール！！ やまもも保育所では、7月の中旬にプール開きをしました。水を張っているプールを見て、子どもたちから『プールだー！！』『早く入りたい！』など、楽しみにしている声が聞こえてきました。プールの準備が整い、子どもたちに『プールに入るから片付けよう』と声を掛けると、いつもはマイペースに片付けをする子も倍速で片付けを始めました！

1歳児は、園庭でタライに水を張り、水遊びをしています。水の感触を楽しむ“泥水作り”、裸足で歩くなど様々な体験をしています。

初めての裸足デビューは、いつも通りに出る子や園庭に出たらつま先で歩き始める子、テラス入り口までは来るが、その先に行こうとしない子……。表現の仕方って色々あるなあ～と思いました(笑)。

2歳児以上は、プールに入り『冷たい』『気持ちいい』など、身体で感覚を培っています。ペットボトルに穴を空け、シャワーを作ったり、ケチャップ容器を水鉄砲に見立てたりと身近な材料を遊具にして遊んでいます♪

ピンクや青のボトルキャップがプールの色とマッチしており、『貝がらみたい☆』『きれいだねー♡』と言いながら、男子も女子も目を輝かせて集めていました(笑)



2歳児は、生活面でも変化が見られ、自分で洋服を脱ぐ・着る・タオルで身体を拭くなど、自立に向けて著しく成長する時期でもあります。

ズボンを履くときに同じ所に足を通していた子も、今ではすっかり一人で履けるようになりました。

幼児クラスは、自分のことは自分で行い、困っているお友達を手助けする姿も見られます。

まだまだ続く、暑い夏。今年はコロナ禍で自粛する事もあると思いますが、今だからこそできる事を見つけ、大人も子どもも楽しみながら、過ごして行きたいと思います。

